

平成18(2006)年度 新人リーグ戦兼新人選手権大会予選

<組み合わせ>

平成18年10月29日(日)・11月3日(祝)

東京都高体連バレーボール女子部

組	会 場	会場競技主任	A	B	C	D	E	F
1	桐 朋 女	鈴木(力)	桐 朋 女	大 妻	両 国	跡見学園	葛 飾 商	拓 大 一
2	千 早	酒井	千 早	頌 栄 女	福 生	八 丈	筑波大附	晴海総合
3	"	"	淑 徳	家政大附	順 天	小 石 川	大東文化一	東 洋
4	杉並学院	荻野	杉並学院	昭和第一学園	東	渋谷教育渋谷	東京女学館	上 野
5	"	"	藤 村 女	明 治 学 院	紅 葉 川	八 王 子	国 学 院	専 修 大 附
6	墨 田 川	中島	墨 田 川	桜華女学院	新 宿	麹町学園女	調 布 北	多摩大聖ヶ丘
7	"	"	中 村	正 則	戸 山	国 際	青 井	飛 鳥
8	第 一 商	稲葉	第 一 商	立 教 女	青 山	日大豊山	小 岩	
9	"	"	城 東	永 山	桜 町	日 出	山脇学園	駒 込
10	光 丘	請地	光 丘	立 川	江 戸 川 女	成 蹊	慶 応 女	九 段
11	"	鈴木(真)	中 央 大 附	錦 城	城 西 大 附	東 京 朝 鮮	富 士 見 丘	日 大 二
12	美 原	野村	美 原	武 蔵 野	学 芸 大 附	東京女子学院	聖 心 女	八 潮
13	"	荒川	白 鷗	葛 飾 野	大 東 学 園	園 芸	江 東 商	大 妻 中 野
14	調 布 南	吉村	調 布 南	武 蔵 村 山	駒 場 学 園	共 立 第 二	久 留 米 西	秋 留 台
15	"	大野	松 蔭	八 王 子 北	共 立 女	日 大 三	北 園	
16	足 立 新 田	榎本	足 立 新 田	目 白 学 園	淑 徳 巢 鴨	日 大 一	南 葛 飾	目 黒
17	"	森田	潤 徳	中央大学高	桜 蔭	戸 板 女	板 橋	三 輪 田 学 園
18	武 蔵 丘	田中(信)	武 蔵 丘	文 京	武 蔵 野 女 学	宝 仙	女子美大付	井 草
19	"	水谷	武 蔵	忠 生	小 金 井 北	お 茶 大 附	国学院久我山	武 蔵 野 北
20	小 平	下山	小 平	杉 並	東 京 電 機 大	町 田	瑞 穂 農 芸	八 王 子 東
21	"	"	田 無	保 谷	京 華 女	文 華 女	東 洋 英 和	五 日 市
22	文 教 大 付	吉田(一)	文 教 大 付	日 体 荏 原	村 田 女	豊 島	大 山	豊 島 学 院
23	"	"	日 女 体 大 附	蒲 田	篠 崎	富 士 見	女 子 聖	立 正
24	深 川	坂本	深 川	鷗 友 学 園	佼 成 学 園 女	東 京	小 山 台	成 立
25	"	浅見	三 田	明 学 東 村 山	本 所	芝 商	鷺 宮	中央学院中央
26	竹 早	鎌守	竹 早	国 立	東 亜	東 村 山 西	富 士 森	上 水
27	"	"	江 戸 川	女 子 学 院	青 山 学 院	都 立 大 附	小 平 南	白 百 合
28	西	三品	西	日 大 鶴 ヶ 丘	松 が 谷	八 雲 学 園	豊 多 摩	足 立 東
29	"	石川(茂)	中 大 杉 並	府 中	大 泉	羽 村	大 崎	桜 丘
30	大 森	山元	大 森	日 比 谷	東 京 家 政	大 島	富 士	神 代
31	"	小川(智)	駒 大 高	農 大 一	松 原	創 価	白 梅 学 園	田園調布学園
32	高 島	大西	高 島	荒 川 商	国 士 館	北 多 摩	小 平 西	明 中 八 王 子
33	"	"	第 四 商	石 神 井	昭 和	府 中 東	朋 優 学 院	晃 華 学 園
34	竹 台	桐畑	竹 台	大 成	江 北	多 摩 大 目 黒	芦 花	雪 谷
35	"	並木	雙 葉	豊 島 岡 女 学	練 馬	三 鷹	清 瀬	都・田園調布
36	第 五 商	小林(朝)	第 五 商	日 野	吉 祥 女	野 津 田	東 海 大 菅 生	
37	"	神崎	国 分 寺	昭 和 第 一	東 村 山	深 沢	青 稜	玉 川 聖
38	狛 江	田口	狛 江	貞 静 学 園	早 稲 田 実 業	和 光	南 多 摩	関 東 国 際
39	"	小林(実)	日 野 台	東 洋 女	翔 陽	成 城 学 園	東 大 和 南	東 京 大 附
40	杉 並 総 合	高木	杉 並 総 合	若 葉 総 合	科 学 技 術	国 際 基 督 教	桜 美 林	多 摩
41	"	"	東 海 大 高 輪 台	足 立 西	第 三 商	府 中 西	東 京 純 心 女	明 星
42	十 文 字	田中(正)	十 文 字	南 平	小 松 川	神 津	東 京 成 徳	帝 京
43	"	"	小 野 学 園 女	田 柄	葛 西 南	千 歳 丘	小 川	玉 川

## < 大会参加上の注意事項 >

東京都高体連バレーボール女子部

1. 試合開始時刻は第1日・第2日目とも9時00分とする。
2. 第1日目・第2日目とも、8時50分までに、各チーム全員が集合し、代表者は必ず受付を済ませること。全員が集合しなかった場合や、受付をしなかった場合は、棄権したものとする。
3. メンバーの変更は、大会要項に記載された様式で、第1日目第1試合開始までに、会場主任に届け出ること。それ以降の変更はできない。様式の異なるものや監督印のないものは無効である。
4. 試合順序・審判当番は、組合せ表を見て、間違いの無いようにすること。審判当番校は、主審と副審（有資格者または同等の審判技術を有する者）、記録、線審、点示（よく慣れている者）を出すこと。
5. ユニフォームには、1～12までの番号を着けることが望ましい。監督・コーチ・マネージャー章を必ず左胸に着ける。
6. ベンチに入ることができるのは、エントリーされた選手12名と、監督・マネージャー・コーチの最大15名である。公式練習に参加できるのは、ベンチに入ることが許された最大15名である。
7. トスは、第1試合は9時00分に、第2試合以後は、試合開始前に行う。
8. 公式練習は、特に要求があった場合にのみ合同で行うが、それ以外はサーブ権をとったチームから、3分間ずつ行う。  
公式練習前に、キャプテンと監督は、記録用紙にサインを済ませること。
9. 審判部申し合わせ事項をよく守ること。特にスポーツマンシップに反する言動については、十分に注意すること。
10. 試合終了後、審判の合図で、一斉にあいさつをするので、さらに審判や相手ベンチにあいさつに行かないで、できるだけ早くベンチを次のチームが使えるようにする。
11. 会場校に迷惑をかけぬように、次のことに注意すること。違反したチームは、次の試合から参加させない。
  - ア 8時00分以前に、会場に行かぬこと。（必ず守ること）
  - イ 盗難、事故に関しては、各チームで充分注意すること。
  - ウ 体育館以外での練習は禁止する。体育館用の靴を必ず用意すること。体育館内にはいるときは、体育館用の靴に履きかえること。
  - エ 会場を汚さぬようにし、後始末や掃除を必ず行なってから帰ること。更衣室や校舎内外・トイレ等はきれいに使うこと。空ビン・空カンを持ち帰ること。
  - オ 会場校では、先生や先輩のスリッパは用意しない。各校で用意すること。
  - カ 駐車場が準備できないので車での来場は厳禁する。（特に応援の保護者、OBには各チームで徹底して欲しい）
  - キ その他、会場校の先生方や、会場主任、コート主任の注意を守ること。
12. その他、大会要項の参加上の注意事項をよく読んで、間違いの無いようにすること。
13. 8時00分から、8時50分までの練習は次のようにする。（エントリーしてある人だけで行うこと）

8：00～8：30	……	ネットを使用しないで練習する。	
8：30～8：40	……	アタック練習	} 会場によって、多少違うことがあるので 会場主任の指示に従って練習すること。
8：40～8：50	……	サーブ練習	
14. 第1位チームには優勝トロフィーを、3位までのチームには賞状を授与する  
本大会の各組の第1、2位のチームは新人選手権一部大会兼冬季大会予選に、第3、4位のチームは新人部大会に出場することができる。